

11月1日を「三原教育の日」に制定

三原市は、心豊かで明るく楽しい三原市の未来を願い、思いやりのある心の教育を展開しています。新しい時代の新たな教育を創造するため、9月の定例市議会で、11月1日を「三原教育の日」と定め、市民協働で教育に対する取り組みを推進し、「教育のまち～三原」をめざすことが決議されました。

教育委員会では、「三原教育の日」の前後1か月を「三原教育月間」と定めて、全ての市民の皆さんに「三原の教育」について、理解と関心を深めてもらうよう様々な取り組みを進めていきます。

また、『たくましく生きる力を育む三原教育宣言』に基づき、三原の宝である子どもたちが、これからの時代をたくましく生きるための力を、バランス良く育成するため、学校・家庭・地域が連携し市民全体で、子育て『金のルール』を推進します。

たくましく生きる力を育む三原教育宣言

子どもたちの元気の素「^{きん}金のルール」

～『早寝・早起き・朝ごはん・読書・あいさつ・靴そろえ』～

をみんなで大切にしましょう

子どもたちは未来の宝です 子どもたちが三原の未来をひらきます

しかし子どもたちをとりまく現実はどうでしょう

核家族化 少子化 情報化 などの急激な進展で子どもたちを取り巻く環境は大きく変化してきました

善悪の判断 がまんすること 人として大切にしなければならないルールを守る意識も薄れてきました

こんな時代だからこそ 子育てや教育も 社会全体で取り組まなければなりません
学校・家庭・地域 が一体となって

子どもたちが 自らを律し 他人と協調し 様々な問題に対応し解決できるように
これからの時代をたくましく生きる力を育成しなければなりません

変化の激しいこれからの社会をたくましく生きるためには

「知：確かな学力」

「徳：豊かな心」

「体：健やかな体」 をバランス良く育てることが大切です

そのための元気の素となる 「^{きん}金のルール」を定めました

～『早寝・早起き・朝ごはん・読書・あいさつ・靴そろえ』～

をみんなで大切にしましょう

さあ 学校・家庭・地域 みんなで始めましょう 「^{きん}金のルール」の取り組みを
そして 市民協働による 新たな三原の教育を

子どもたちの元気の素「^{きん}金のルール」でたくましく生きる力を育てましょう!



はやね 早寝

○脳と体の成長には、上質な睡眠が必要です。記憶を知恵、知識とする脳の働きは、午後10時から午前2時が最も活性化します。
 ☆早く寝ることで、脳から分泌される脳内物質が増えて脳を活性化し、成長ホルモンの分泌を促します。



はやお 早起き

○「しみじみと満ちたりた気持ち」を感じさせる脳内物質の分泌を促し、満足感や充実感を感じやすくします。
 ☆「幸福なやる気」を生み出し、がんばり続ける力を与えます。



あさ 朝ごはん

○脳と体を活動させるエネルギーの素です。脳は睡眠中も働いています。使い切った燃料の補給が必要です。
 ☆脳の燃料を補給することにより、朝から脳がフル回転することができます。



どくしょ 読書

○子どもが言葉を学び、感性を豊かにして、想像力を育て、考える力や表現力を高めていくうえで欠かせないものです。
 ☆知識の習得や人生をより深く生きる力が身につきます。幼児期は本の読み聞かせも非常に効果的です。



あいさつ 靴そろえ

○人として生きていくうえでの基本的なマナーです。コミュニケーション能力を高め、人間関係づくりに役立ちます。
 ☆子どもたちの元気なあいさつは、学校だけでなく家庭や地域も元気が出ます。



○整然とした雰囲気をつくり、みんなの心がつながるとともに、社会マナーが身に付きます。
 ☆学校・家庭・地域、みんなで取り組むことによって、子どもたちの態度も雰囲気も変わります。

☆睡眠時間を十分取っている児童生徒の方が体力運動能力は高い。

	睡眠8時間以上の人数割合	全種目合計点
小5 男子	約80%の小学校	54.8
	約65%の小学校	48.5
中2 男子	約30%の中学校	42.7
	約15%の中学校	39.7

(H20年度「全国体力・運動能力テスト」三原市結果)

☆朝食を摂る児童生徒の方が学力調査の正答率は高い。

	朝食摂取率と算数・数学A(%)	正答率
小学生	食べている	82.3
	あまり食べていない	62.2
中学生	食べている	64.1
	あまり食べていない	46.0

(H21年度「全国学力・学習状況調査」三原市結果)